100歳のお誕生日おめでとう

吉田 フミさん

明治43年8月17日生

「こんな暑い日に私は生まれてきたのかね？」と元気に話す吉田フミさん。毎日の日課は朝6時に起床し、朝日新聞と日本農業新聞を読む事、天気の良い日には庭とみかん畑の草むしり、そして夜にはその日の出来事を日記に書き記す事だそうです。

好物は「寿司」で、毎日「足柄茶」にレモンの輪切りを入れて飲んでいるので、風邪など引いたことがないとおっしゃってました。

福野 ユキさん

明治43年9月10日生

デイサービスで色塗りをするのが楽しみだと話してくださった福野さんは、とても指先が器用で、話を伺いに行った時も、細かな部分まで丁寧に素早く色塗りをされていました。

また、ご自宅でも庭いじりをするとのことで、とてもお元気なご様子でした。

現在は町の文化祭への出展に向け、作品を制作中とのことです。

松田町総合防災訓練

9月5日(日)に総合防災訓練が実施され、町内各自主防災会を始めとし、消防団・足柄消防組合・陸上自衛隊・松田警察署・社会福祉協議会・松田地区建設業協会より合計約2、500名が訓練に参加し、災害時の備えや地域での連携、応急処置方法などについて再確認しました。

消防団による初期消火訓練

◀松田地区建設業協会の指導による土のうづくり訓練

今回初期消火訓練に使用した水消火器は、(財)日本防火協会の助成事業を利用し、宝くじの助成金で整備したものです。

普段から避難場所の確認や倒壊の危険性がある家具を固定するなど、少しの事でも注意・改善しておけば、もしもの時に二次災害などを回避する事が出来るかもしれません。

防災訓練をきっかけに、日常生活でも防災について考え、自助・共助・公助の連携により災害に備えましょう。

それゆけ!!我がまちの消防団!!

このコーナーでは、松田町で日々火災や災害時に備え、ボランティアで活動している松田町消防団の紹介を、全9回の連載で行っていきます。広報まつだ10月号では、最初に松田町消防団の概要を紹介します。

皆さんは消防署と消防団の違いをご存知でしょうか？…

消防署とは、足柄上郡各町と南足柄市が共同で運営しており、火災や風水害の災害対応や救急・救助・予防など、専門的な知識や訓練を必要とする総合的な消防活動を行っています。

消防団とは、地域に住み、普段は別の仕事をしていますが、有事の際などにボランティアで出動する、町が独自で組織する団体で、鍵和田儀一団長他副団長3名で組織されている本団と各地区8分団にて構成されており、定員は140名です。

▲松田町消防団

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、消防署の後方支援、地震や風水害といった大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防御活動などに従事します。また、防災訓練時には、自主防災会とともに訓練の指導にあたっています。平常時は、水利の点検や、応急手当の普及指導、住宅への防火指導、特別警戒、広報活動などに従事し、地域における消防力・防災力の一翼を担っています。

▲本団

第33回まつだ観光まつり

8月28日(土) 町内・酒匂川町民親水広場

今年も天候に恵まれ、まつだ観光まつり・あしがら花火大会合わせて98,000人の人出で会場は盛り上がりました。

またパレードには、ちんどん屋・立花学園チアリーディング部・立花学園吹奏楽部・立花愛児園園児・松田小学校4年生が新たにまつりの盛り上げ役として参加しました。

まつだ観光まつりと言えば何と言っても大名行列。神奈川県民俗芸能50選にも指定されています。

今年も勇壮な演技を披露してくれました。

小さい体で大きく、そして力強い演技を披露してくれた松田小4年生。

元気が光った、立花学園の生徒たち。